

## 国立大学法人兵庫教育大学経営協議会（第4回）議事要旨

日 時 平成28年11月25日（金）13:30～15:50

場 所 神戸ハーバーランドキャンパス兵教ホール

審議に先立ち、学長から、前回（第3回）の議事要旨（案）の確認が行われ、原案のとおり了承された。

### 議 事

#### 1 審議事項

- (1) 平成28年度予算実施計画第1次補正案について  
事務局長及び財務課長から、配付資料2-1～-3に基づき、平成28年度予算実施計画第1次補正案について説明が行われ、原案のとおり了承された。
- (2) 役職員の給与等の改定について  
事務局長から、配付資料3-1、-2に基づき、人事院勧告の概要について説明が行われた後、本学役職員の給与等を社会一般の情勢に適合したものとするため、法改正の内容を勘案して所要の改正を行うことについて説明が行われ、原案のとおり了承された。
- (3) 役員の期末特別手当について  
事務局長から、役員の期末特別手当に関する手続等について説明が行われた。  
続いて、学長から、平成28年12月期の常勤の役員（学長及び理事）の期末特別手当の支給額については、大学改革の厳しい環境にはあるが、経営努力により順調に業績を上げていることから標準の支給割合で支給することについて説明が行われ、原案のとおり了承された。
- (4) 兵庫教育大学基金の創設について  
事務局長から、配付資料4に基づき、基金創設に関する目的、使途等について説明が行われた。  
委員による主な意見は次のとおり（○：意見・質問，●：回答）
  - 学校運営の財政が厳しさを増す中で、寄附金収入を獲得することは重要である。
  - 寄附を募るには、組織や運営体制についても十分な説明が必要である。
  - 寄附金控除の優遇措置について、わかりやすく説明した資料を作成した方がよい。
- (5) 国立大学法人兵庫教育大学危機管理規則の制定について  
事務局長から、配付資料5に基づき、危機管理規則の制定について説明が行われ、原案のとおり了承された。

#### 2 報告事項

- (1) 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について  
名須川副学長から、配付資料6に基づき、国立大学法人評価委員会より、平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果の通知があり、すべての項目が「順調に進んでいる」との評価であったことについて報告が行われた。
  - 平成27年教員就職率69.9%は高いのか。
  - 国立の11の教育大学の中では、3位である。
  - 臨時的任用が正規採用の半数以上となっている。教員の大量退職に対応した雇用状況から考えると学部生の就職率をもっと高める必要があるのではないか。

●順位に甘んずることなく、危機感をもって対応策を検討しているところである。

- (2) 平成27年度財務分析・財務レポート2016について  
事務局長及び財務課長から、配付資料7-1, -2に基づき、平成27年度財務分析及び財務レポート2016について報告が行われた。  
○流動比率の分析結果について、流動資産の減少が授業料や受託事業の経費の未収入金によるという書き方は修正したほうがいいのではないか。  
○形式的分析にすることなく、真摯に分析に取り組むことが大切である。
- (3) 平成29年度概算要求の状況について  
事務局長及び財務課長から、配付資料8-1～-4に基づき、平成29年度運営費交付金の概算要求及び施設整備概算要求事業について報告が行われた。
- (4) 平成29年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験の実施状況について  
福本副学長から、配付資料9-1, -2に基づき、8月選抜の実施状況及び11月選抜の出願状況について報告が行われた。
- (5) 寄附金の受入れについて  
教育研究支援部長から、配付資料10に基づき、前回の経営協議会以降に受入れが決定された寄附金について報告が行われた。
- (6) その他  
学長から、配付資料11に基づき、訴訟事案について報告が行われた。

### 3 その他

- (1) 人件費を含む経費削減について  
学長から、昨今の厳しい財政状況に鑑み、経費削減策について説明が行われ、種々意見交換が行われた。  
○大量退職の時期に新規採用者を少なく、賃金カット（単価改定）により対応した。賃金カットは職員のモチベーションを下げるなど仕事への影響も大きいため、人数削減による経費削減がいいのではないか。  
○大学の自己収入には限界があり、増収入も見込めないならば、海外進出等、新規市場の開拓も考えられる。抜本的な構造改革が必要なのではないか。

－ 以 上 －